

自己コントロール

10日間連続で新規感染者も1000人を下回り、爆発的な感染も落ち着いてきました。皆さんには、人流を抑えることを目的として、自宅でオンライン授業を受けてもらいました。何らかの理由で登校し授業を受けていた生徒に自宅でのオンライン授業について聞いてみると、「いつも、オンライン授業がいいです。」「オンラインは楽でいいです。」や「一人でオンラインだと、眠くなっちゃいます。」など、様々でした。



一人自宅で授業を受けるということは、自分自身をコントロールしなければならないことになるので、やはり皆さん大変だったのではないかと思います。先生方も一生懸命準備をしましたが、回線の不具合により動画が止まったり、音声と画面

がずれたりする中、一人で集中力を保ち続けるのは難しくなかったですか。

しかし今後、情報化の流れは「個別最適化」された学びの実現への動きを増していきます。例えば、学びの復習を動画視聴できるようになったり、学習時間や学習ログをAIが分析し学習ゾーンの提案をしたりなど、色々なことが考えられます。その時に一番大切となるのは、皆さんの「学びたい」という意欲です。一人であっても、必要な学習を反復して行い、自分で分からないこと明確にして先生に質問することが求められます。逆に、楽をしようと思えば、いくらでも楽ができ、やっているふりをしながら時間を過ごせるのも、一人での学びです。

今回の学びを振り返り、学習する準備（気持ちや環境など）ができていたか、効果的に学ぶことができたかをチェックしてください。社会に出て生きていくということは、「すべきことをする」ことが大切です。そのための自己コントロールは重要なポイントとなります。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】生徒たちがいない教室で授業をする先生方はやりづらそうでした。特に外国人講師と授業を行う英語の授業では、この音声環境の厳しさを実感しました。また、広い教室に数人で授業を受けている生徒たちも、静まり返った校舎内で寂しそうに感じました。やっぱり学校には皆さんの笑顔と声が必要です。今日から感染予防を徹底した上での学びの再開をよろしく！



ここが学び舎だ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」